

ナチュラルアート鈴木誠メールマガジン
会員のみなさま

こんにちは。
今日の東京は、気持ちの良いお天気です。
さてそんな気持ちの良い日に、あまりスッキリしないお話しを。

sample
無断転記・転売
禁止

本日、TPP参加交渉に関して、日本と米国が合意すると言われていました。
その合意の、詳細は開示されておりません。
甚だ不満と不安です。

ただ百歩譲って、政治の交渉が水面下でなされることは、
時には必然であり、情報開示ができないこともあるでしょう。
しかしその前提条件は、政治家が責任を持って、
国益を確保してくれるという信頼に足るからです。

TPPに関して、あらためて僕のスタンスを記載いたします。
TPPに限らず、世界が自由貿易圏に向かっていることは、
もはや止められぬ潮流であり、そこに日本だけが参加しないという選択肢はありません。
よってTPP交渉に参加することは必然と考えます。
交渉後、実際にTPPに参加すべきかどうかは、まだまだ検討の余地があります。

TPP交渉の裏側で、国民が知らない恐ろしい密約があるとされています。
先月3月7日の中日新聞夕刊トップ記事によると。
TPPをリードしてきたアメリカ他9カ国がルールを決め、
それ以外の後発国であるカナダやメキシコは、それらに例外規定等異議申し立てが
できないという密約があると、報道されています。
もしこれが事実であれば、日本にも同様の密約が提示されている可能性が高いと。
このことは、3月8日の予算員会で、維新の会松野議員（熊本）が追及していますが、
まともな回答はありませんでした。

（因みに僕は、2～3か月前、松野議員の主催する勉強会の講師を依頼され、
議員会館で約2時間お話をしてきました。松野議員は大変真面目で誠実な方です。）

いま言われている例外5品目の獲得をはじめ、日本が主張している要求は、
上記の密約に限らず、大変厳しい状況であることは間違いありません。
それでは、昨年未の衆議院選挙で、JAはじめ農業業界から支援をもらった
自民党はウソをついたということになります。
そこでその懐柔策として、お決まりの手厚い補助金を支給しようと動いています。
差し当たり、この7月にやってくる参議院選挙を乗り越えるために、
農家厚遇策を展開し、TPPは、それはそれとして・・・とお茶を濁している雰囲気です。
先日までTPP断固反対と言っていた自民党農林族が、いまは全国を駆け回って、
手厚い補償をするから、引き続き自民党を応援してくれと一生懸命です。

これは日本の農業の成長戦略でもなんでもありません。
むしろ麻薬で、一瞬の麻痺した幸福感の中で、身体が蝕まれていくのです。
一方で、この麻薬を喜んで飲んでいる農家も多いのも事実です。

この続きは、また次回、記載いたします。

株式会社ナチュラルアート 鈴木誠メールマガジン

※本メールは、株式会社ナチュラルアートより、
有料メールマガジンをご購入いただいた方を対象にお送りしております。

ホームページ <http://www.naturalart.co.jp>

ネット販売サイト <https://naturalart.stores.jp/>

有料メルマガ受付 <https://naturalart-company.stores.jp/>

ブログ <http://naturalart.cocolog-nifty.com/>